

取材先	本好きを支える会		
企画名	第1回 ビブリオバトル in 下関		
備考			
取材日	2019年9月15日(日)天候[晴れ] [14:00~16:00]	取材地	下関市立中央図書館 4階 多目的室

本好きを支える会は、本好きの世界を広げ読書会の活性化を図ることを目的に、毎月「持ち寄り本の集い」を下関市立中央図書館・川中公民館・彦島図書館・勝山公民館・小月公民館などで行っています。また、月刊「本が好きな人への情報」を発行し情報の発信をしています。

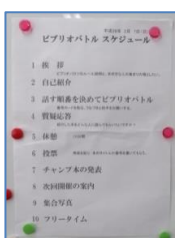
今回、下関で初めて市民主催の「第1回ビブリオバトル」が本好きを支える会により開催されました。ビブリオバトルとは、参加者が読んで面白いと思った本を持ち寄り、順番に1人5分で紹介し、その後3分で質疑応答、全員の発表終了後どの本が読みたくなったかを基準とした投票を参加者全員で行い、最も多くの票を集めた本がチャンプ本となります。机の上には5分の砂時計とタイマーが用意され、本の紹介時間はきっちり5分と決められ短くても長くてもいけません。北九州や防府からも集って始まった第1回ビブリオバトルは、主催者の田中氏の挨拶の後、バトラが自己紹介、トランプを引いて若い順から6名が本を紹介しました。投票結果は、なんと3冊が同数で、休憩から帰り最後に投票した人で1冊が決まりました。チャンプ本になった方は、萩で行われる『チャンプ本 山口県大会』に参加することができ、グランドチャンプ本を含む5人の方に長州ファイブ賞として図書券が進呈されます。

初めてビブリオバトルに参加しましたが、紹介者それぞれの語り口で本の面白さを伝えてもらい、個人的には全部の本が読みたくなりました。次の第2回開催が楽しみです。本が好きな方、興味のある方は是非参加してみたいはいかがでしょうか。

レポート



代表の田中氏



状況写真

